

茨城県産野生哺乳類目録*

竹内正彦**・藤本竜輔***・森島和也****
 ・安井さち子*****・山崎晃司*****

(2015年9月29日受理)

A List of Wild Mammals in Ibaraki Prefecture, Central Japan *

Masahiko TAKEUCHI **, Ryusuke FUJIMOTO ***, Kazuya MORISHIMA *****,
 Sachiko YASUI ***** and Koji YAMAZAKI *****

(Accepted September 29, 2015)

Abstract

A list of wild mammals found in Ibaraki Prefecture, central Japan, was compiled based on records from 1965 to 2014. These records include specimens collected by Ibaraki Nature Museum, stranding records of Ibaraki Prefectural Oarai Aquarium, field data, and literature reports. In all, 67 species in 24 families and seven orders were recorded. Of these, 37 species in 15 families and six orders were terrestrial mammals, including bats. Marine mammals were represented by 30 species in nine families and two orders. The order Carnivora included both terrestrial and marine mammal species. The present list was compared with a previous list of terrestrial mammals published in 2001 (Yamazaki *et al.*, 2001). The shinto shrew *Sorex shinto*, bird-like noctule *Nyctalus aviator*, and Japanese long-eared bat *Plecotus sacrimontis* were deleted in the present list because of insufficient records. Further, three bat species, as well as Anderson's red-back vole *Eothenomys andersoni*, Japanese black bear *Ursus thibetanus*, and Japanese serow *Capricornis crispus* were added to this list. In addition, three naturalized alien species were listed.

Key words: alien species, inventory research, marine mammal, red list, terrestrial mammal.

* 本研究の一部は茨城県版レッドデータリスト（動物編）改訂作業（茨城県生活環境部環境政策課）の補完調査によって実施した（This study was partially supported by the project of supplementary studies for the revision of the red data list for animals in Ibaraki Prefecture.）.

** 農研機構中央農業総合研究センター 〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1（NARO Agricultural Research Center, 3-1-1 Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8666, Japan）.

*** 農研機構東北農業研究センター福島研究拠点 〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南50（NARO Tohoku Agricultural Research Center, Fukushima Research Station, 50 Harajukuminami, Arai, Fukushima, Fukushima 960-2156, Japan）.

**** アクアワールド茨城県大洗水族館 〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町8252-3（Ibaraki Prefectural Oarai Aquarium, 8252-3 Isohama-cho, Oarai-machi, Higashiibaraki-gun, Ibaraki 311-1301, Japan）.

***** 日光森林棲コウモリ研究グループ 〒305-0043 茨城県つくば市大角豆（Nikko Forest Bats Research Group, Sasagi, Tsukuba, Ibaraki 305-0043, Japan）.

***** ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 茨城県坂東市大崎700（Ibaraki Nature Museum, 700 Osaki, Bando, Ibaraki 306-0622, Japan）.

現所属：東京農業大学地域環境科学部 〒156-8502 東京都世田谷区桜ヶ丘1-1-1（Tokyo University of Agriculture, 1-1-1 Sakuragaoka, Setagaya, Tokyo 156-8502, Japan）.

はじめに

茨城県における野生哺乳類の生息状況のうち、陸生哺乳類については茨城県の生息分布調査（茨城県, 2002, 2007）やミュージアムパーク茨城県自然博物館（以下、県自然博）の総合調査（茨城動物研究会, 1998, 2004, 2007）などによって把握されてきた。また、海生哺乳類についてはアクアワールド茨城県大洗水族館（以下、県水族館）のストランディング（漂着）対応が記録されており、これは日本鯨類研究所のストランディングレコードに随時報告されている。こうした情報をとりまとめたものは、陸生については山崎ほか（2001）のリスト、海生については大関（2012a）のリストがある。しかし、陸、海の哺乳類を統一基準で整理した目録はこれまでなく、さらに、陸生動物の情報はまとめられてから約 15 年が経過している。

このような背景の下、茨城県は 2013～15 年度にかけて、「茨城における絶滅のおそれのある野生生物

〈動物編〉」（茨城県, 2000）の見直し作業を行っている。今回の見直しで特筆すべきは、これまで取り扱わなかった海生哺乳類の生息状況を検討したことである。また、見直し作業では陸生哺乳類の生息状況について補完調査が行われ、いくつかの種で新たな生息情報を収集できた。そこで、県自然博および県水族館の所蔵標本情報、補完調査の結果ならびに既存文献を整理し、最新の茨城県産野生哺乳類目録を作成した。

材料および方法

対象地域

本目録の掲載対象地域として、陸域については国土数値情報行政区域データ平成 26 年度（国土交通省国土政策局国土情報課 GIS ホームページ: <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03.html>）（2014 年 12 月 30 日確認）による茨城県の行政区域とした(図 1)。沿岸海域は吉田（1994）に準じ、北緯 35 度 30 分の犬

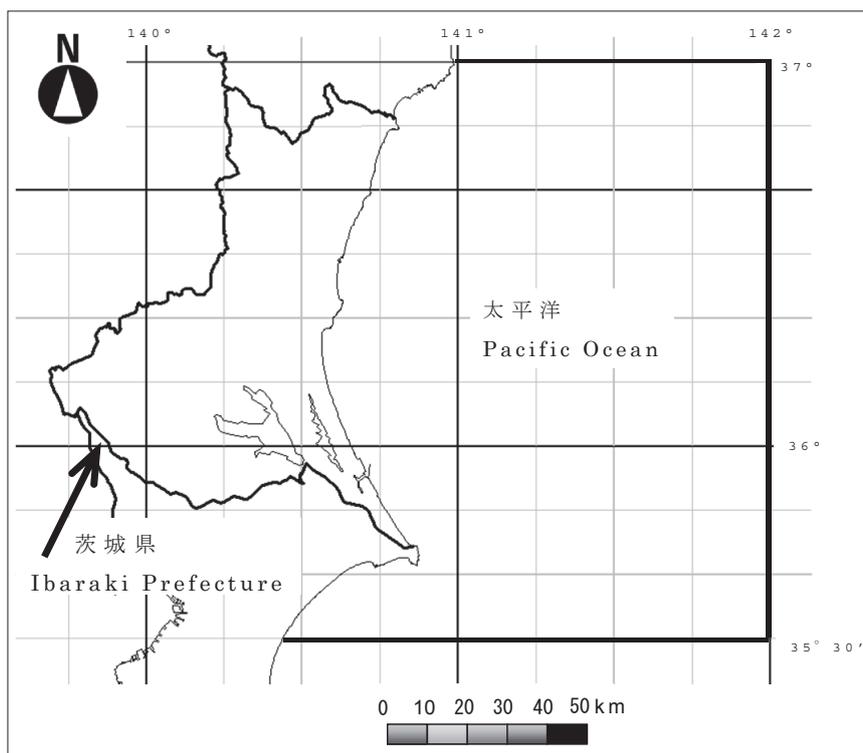


図 1. 茨城県産野生哺乳類目録の掲載対象区域。

陸域は茨城県の行政区域とし、沿岸海域は北緯 35 度 30 分から北緯 37 度 00 分までの沿岸と東経 142 度に囲まれる区域とした。地図描画にはフリーソフト白地図 KenMap ver. 9.1 を利用した（国土地理院承認 平 14 総複 第 149 号）。

Fig. 1. Surveyed area for the inventory study of terrestrial and marine mammals in Ibaraki Prefecture, central Japan.

The land area is defined as the administrative division of Ibaraki Prefecture. The marine area is the area enclosed by the shore line and the three lines 142° E, 37° 00' N and 35° 30' N. The map was drawn using KenMap software ver. 9.1, with the permission of the Geospatial Information Authority of Japan (permission number: Hei-14-Sou-Fuku, no. 149).

茨城付近から北緯 37 度 00 分の塩屋崎付近までの沿岸から東経 142 度までの海域とした。陸域での現地調査では都道府県別メッシュマップ茨城県（環境庁自然保護局計画課自然環境調査室，1997）を利用して位置情報を記録した。

目録の掲載基準と記載情報

本目録では 2014 年を基準年とし、茨城県版レッドデータブック〈動物編〉カテゴリー定義（茨城県，2000）の絶滅種の条件を考慮し、過去 50 年、すなわち 1965 年以降に生息情報がある野生哺乳類種を掲載した。確認年月が不明な情報は用いず、今後の絶滅判定に供するため、原則として 2014 年 12 月 31 日から過去に直近のもの 3 件を用い、可能な場合は地域的な配慮を施した。例えば、同時に同地点で確認された複数個体の情報からは 1 件のみを採用し、陸生では県北、県央、鹿行、県南、県西の 5 地域、海生では県北、県央、鹿行の 3 地域から可能な限り偏りのないよう選択するようにした。

動物種の生息の確認方法としては、捕獲（拾得・収容といった生体の一時的保護を含む）、視認（個体の確保を伴わないもの）と写真（手撮りおよび自動撮影カメラでの撮影）および痕跡を採用し、目録への掲載基準もこの順番とした。陸生哺乳類において県自然博の標本で確認したものは INM-X-XXXXX 形式の標本番号を記した。補完調査などの現地調査で著者らによって確認されたもので、本目録において初出のものは確認者名を記した。補完調査は 2013 年 4 月から 2014 年 12 月まで行ったカワネズミの捕獲と自動撮影調査（藤本ほか，2015）、コウモリの捕獲調査（安井，未発表）、オコジョほか中・大型哺乳類の自動撮影調査（竹内，未発表）からなり、一部は継続中である。また、いきものログ（環境省生物多様性センター，<http://ikilog.biodic.go.jp/>）からの引用の場合は管理番号を記した。文献調査においても、上記の確認方法が明示されている文献だけを採用した。

陸生哺乳類は在来種と外来種に区分した。外来種のうち飼養動物（産業、家庭、展示、実験動物）由来で野外での定着・繁殖が確実でない種は対象外とした。このため、イヌ *Canis familiaris* Linnaeus, 1758 とネコ *Felis catus* Linnaeus, 1758 の放し飼いやアナウサギ *Oryctolagus cuniculus* (Linnaeus, 1758) の逸出などは除外した。一方、アライグマ *Procyon lotor* (Linnaeus,

1758) とクリハラリス *Callosciurus erythraeus* (Pallas, 1779) は野外定着の証拠があるため（山崎ほか，2009; 山崎，2014），目録に掲載した。

海生哺乳類では死体の漂着を生息と認めるかについて議論もあるが、今回は種同定ができた存在記録はすべて生息情報として用いた。海生哺乳類の確認記録の大部分は県水族館のストランディングへの対応（1981 年 11 月 28 日～2013 年 3 月 31 日）によるため、ここからの引用については無印とした。本対応の茨城県沿岸、河川に座礁、迷入し、種同定された記録からは、生存での漂着情報を優先した。次に吉田（1994）に記載の沿岸および海域調査で目視された種の記録を引用し、最後に対応記録の死亡での情報（混獲および漂流を含む）を掲載した。

目録で用いた動物分類名、和名、学名、学名の著者と掲載順は Ohdachi *et al.* (2009) に従った。動物種ごとの記載事項は、確認場所・メッシュ番号、確認年月、確認方法、確認者または文献の順とした。確認場所については現市町村名と大字名を記した。必要に応じて括弧書きで合併以前の市町村名、字名、施設名、山・河川・海岸名、沿岸名を付した。確認位置情報は 1973（昭和 48）年行政管理庁告示第 143 号の地域基準メッシュ・第 2 次（10 km メッシュ，6 桁）および第 3 次地域区画（1 km メッシュ，8 桁）を記した。確認時点は原則として年月を、期間で示されているものは期間を記した。

陸生哺乳類 2001 年刊行リストとの比較

陸生哺乳類については、2001 年に刊行されたリスト（山崎ほか，2001）と本目録を比較し、情報の精査により生息の証拠が得られないものを「削除種」、新たな生息情報が得られたものを「追加種」とした。今回の基準では東日本大震災（2011 年）の影響で失われた記録について、こうした判断をし、削除種としたものがある。2001 年のリストでは近世から近代にかけては存在したものの、その後情報が途絶えた種について、茨城県から消滅したと考えられる種と区分されている。こうした種で今回生息の証拠が得られたものは「消滅からの再確認種」として整理した。

結 果

茨城県産野生哺乳類目録

茨城県に生息する哺乳類として、7目24科56属67種を目録に掲載した。このうち陸生哺乳類(コウモリ類を含む)は6目15科32属37種、海生哺乳類は2目9科24属30種であった。海生哺乳類は食肉目(海獣類)が4種、クジラ目(鯨類)が26種であった。陸生哺乳類の外来種は2目3科3属3種であった。

茨城県産野生哺乳類目録

- ・外来種には和名の前に § を記す。
- ・「追加種」, 「消滅からの再確認種」には学名の後にその旨を記す。

I. トガリネズミ形目(モグラ目) Soricomorpha

1. トガリネズミ科 Soricidae

- 1) カワネズミ *Chimarrogale platycephala* (Temminck, 1842)

北茨城市華川町・花園川 55402550 (2014, VII): 捕獲, INM-1-060619, 藤本ほか (2015); 高萩市横川・大北川 55402408 (2014, VII): 捕獲, 藤本ほか (2015); 石岡市(八郷)上曾 54403102(1998, V): 視認, 藤本ほか (2015)。

- 2) ニホンジネズミ *Crocidura dsinezumi* (Temminck, 1842)

つくば市(谷田部)観音台 54400028 (2012, II): 捕獲, 竹内; 北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (2006, XII): 捕獲, 安田ほか (2010); つくば市(筑波)上菅間 54402045 (1996, XII): 捕獲, 茨城動物研究会 (1998)。

2. モグラ科 Talpidae

- 3) ヒミズ *Urotrichus talpoides* Temminck, 1841

北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (1999, V): 捕獲, 安田ほか (2010); 鹿嶋市(鹿島)宮内 53407550 (1999, X): 捕獲, IMN-1-008987; 土浦市(土浦)霞ヶ丘 54400166 (1996, VII): 捕獲, IMN-1-002158。

- 4) アズマモグラ *Mogera imaizumii* (Kuroda, 1957)

河内町長竿 53406252 (2014, X): 捕獲, 竹内; 坂東市(岩井)大崎 54390703 (2013, X): 捕獲, INM-1-049361; ひたちなか市(那珂湊)・常陸海浜公園

544044 (2012, V): 捕獲, INM-1-048142。

II. 翼手目(コウモリ目) Chiroptera

3. キクガシラコウモリ科 Rhinolophidae

- 5) キクガシラコウモリ *Rhinolophus ferrumequinum* (Schreber, 1774)

水戸市(水戸)木葉下 54405209 (2014, VI): 捕獲, 安井(未発表); つくば市(筑波)・筑波山 54402057 (2007, X): 捕獲, 安井・斉藤 (2010); 常陸大宮市(大宮)三美 54406248(2007, X): 視認, 安井・斉藤(2010)。

- 6) コキクガシラコウモリ *Rhinolophus cornutus* Temminck, 1835

水戸市(水戸)木葉下 54405209 (2014, VI): 捕獲, 安井(未発表); 桜川市(真壁)山ノ尾・山ノ尾鉾山跡 54403110 (2008, II): 視認, 安井・斉藤 (2010); 北茨城市花園・花園神社前鍾乳洞 554025 (2000, XI): 視認, 小柳ほか (2003)。

4. ヒナコウモリ科 Vespertilionidae

- 7) アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* (Temminck, 1838)

つくば市(谷田部)東 54400160 (2009, VII): 捕獲, 安井・斉藤 (2010); つくば市(桜)並木 54400162 (2008, XI): 捕獲, 安井・斉藤 (2010); 古河市(三和)東山田 543916 (2004, X): 捕獲, 石塚ほか (2006)。

- 8) ヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* (Peters, 1880) [追加種]

城里町(桂)赤沢 54406246 (2014, VIII): 捕獲, 安井(未発表); 大子町上野宮・八溝嶺神社 55403212 (2004, IV): 捕獲, 山崎ほか (2008)。

- 9) モモジロコウモリ *Myotis macrodactylus* (Temminck, 1840)

城里町(桂)赤沢 54406246 (2014, VIII): 捕獲, 安井(未発表); 常陸大宮市(大宮)三美 54406248 (2007, X): 捕獲, 安井・斉藤 (2010); 日立市(日立)中丸町・大久保の風穴 544064 (1997, VIII): 捕獲, 小柳ほか (2003)。

- 10) ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* (Hodgson, 1835) [追加種]

日立市(日立)多賀町・桜川河口 54406551 (2013, IV): 捕獲, 安井・山崎 (2013); 日立市(日立)多賀町・桜川河口 54406551 (2011, XI): 捕獲, 安井・山崎 (2013); 日立市(日立)鮎川町 54406582 (2011,

VIII): 捕獲, 安井・山崎 (2013).

- 11) テングコウモリ *Murina hilgendorfi* (Peters, 1880)
〔追加種〕

北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (2005,
VIII): 捕獲, 安田ほか (2010).

- 12) コテングコウモリ *Murina ussuriensis* Ognev, 1913
桜川市 (真壁) 羽鳥・筑波山 54402078 (2007, IX):
捕獲, 安井・斉藤 (2010); 大子町上野宮 55402290
(2005, IX): 捕獲, 茨城動物研究会 (2007); 北茨城
市関本町・小川群落保護林 554034 (2005, V): 捕獲,
柴田・安井 (2006).

III. 齧歯目 (ネズミ目) Rodentia

5. ヤマネ科 Gliridae

- 13) ヤマネ *Glirulus japonicus* (Schinz, 1845)
北茨城市花園 55402429 (2003, IX): 視認, 山崎 (未
発表); 北茨城市花園・奥の院 55402439 (1998, X):
写真, 山崎ほか (2001); 北茨城市関本町・小川群落
保護林 554034 (1994, V): 視認, 安田ほか (2010).

6. ネズミ科 Muridae

- 14) ヤチネズミ *Eothenomys andersoni* (Thomas, 1905)
〔追加種〕
北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (2008,
VII): 捕獲, INM-1-038777, 奥村ほか (2009); 北茨
城市関本町・小川群落保護林 554034 (2008, VI):
捕獲, INM-1-038776, 奥村ほか (2009).
- 15) ハタネズミ *Microtus montebelli* (Milne-Edwards, 1872)
つくば市 (筑波) 上菅間 54402045 (1996, XII): 捕獲,
INM-1-009020, 茨城動物研究会 (1998).
- 16) カヤネズミ *Micromys minutus* (Pallas, 1771)
坂東市 (岩井) 大崎・菅生沼 53397793 (2003,
V): 捕獲, INM-1-008957; つくば市 (筑波) 上菅間
54402045 (1996, XII): 捕獲, 茨城動物研究会 (1998).
- 17) アカネズミ *Apodemus speciosus* (Temminck, 1844)
大子町浅川・滑石 55401247 (2005, XII): 捕獲,
茨城動物研究会 (2007); 常陸大宮市 (山方) 山
方 54407341 (2005, V): 捕獲, 茨城動物研究会
(2007); 坂東市 (岩井) 大崎・菅生沼 53390703 (2003,
V): 捕獲, INM-1-008955.
- 18) ヒメネズミ *Apodemus argenteus* (Temminck, 1844)
北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (1998-
2009): 捕獲, 安田ほか (2010); 北茨城市花園・花

園神社 55402520 (2004, VII): 捕獲, INM-1-031260;
つくば市 (筑波) 風返峠 54402150 (1996, XII): 捕獲,
茨城動物研究会 (1998).

- 19) ドブネズミ *Rattus norvegicus* (Berkenhout, 1769)
日立市 (日立) 相田町 544075 (2002, IV): 拾得,
茨城動物研究会 (2004); ひたちなか市 (勝田) 東石
川 54404473 (2001, III): 捕獲, INM-1-008963.
- 20) クマネズミ *Rattus rattus* (Linnaeus, 1758)
常総市 (水海道) 大塚戸町 54390704 (1997, IX):
捕獲, INM-1-002175; 北茨城市関本町小川 554034
(1990年代前半): 捕獲, 安田ほか (2010).
- 21) ハツカネズミ *Mus musculus* Linnaeus, 1758
つくば市 (谷田部) 観音台 54400028 (2012, IV):
捕獲, 竹内; 坂東市 (岩井) 大崎・菅生沼 54390703
(2003, V): 捕獲, INM-1-008956; 桜川市 (真壁) 羽
鳥 544030 (1995, IX): 捕獲, 茨城動物研究会 (1998).

7. リス科 Sciuridae

- 22) ニホンリス *Sciurus lis* Temminck, 1844
北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (2006,
XII): 視認, 安田ほか (2010); 大子町蛇穴新田
55402281 (2005, IX): 視認, 茨城動物研究会 (2007);
北茨城市花園 55402439 (2014, X): 写真, 竹内.
- 23) § クリハラリス *Callosciurus erythraeus* (Pallas, 1779)
〔追加種〕
坂東市 (岩井) 神田山・菅生沼 54390733 (2013,
V-2014, IV): 捕獲, 山崎 (2014).
- 24) ムササビ *Petaurista leucogenys* (Temminck, 1827)
桜川市 (大和) 本木・雨引観音 54403099 (2011,
I): 捕獲, 竹内; 常陸太田市 (金砂郷) 千寿町 544063
(2009, IX): 捕獲, INM-1-042439; 北茨城市花園
55402520 (2013, XII): 痕跡, 藤本.
- 25) ニホンモモンガ *Pteromys momonga* Temminck, 1844
常陸太田市 (里美) 里川 55401482 (1994, XII):
捕獲, 常陸太田市教育委員会標本.

IV. ウサギ目 Lagomorpha

8. ウサギ科 Leporidae

- 26) ニホンノウサギ *Lepus brachyurus* Temminck, 1845
日立市 (日立) 大和田・国道 6 号 554064 (2013,
IX): 捕獲, INM-1-048297; 高萩市赤浜・国道 6 号
554005 (2013, VIII): 捕獲, INM-1-048251; つくば
市 (谷田部) 小野川 54400049 (2014, II): 視認, 竹内.

V. 食肉目 (ネコ目) Carnivora

9. イヌ科 Canidae

27) アカギツネ *Vulpes vulpes* (Linnaeus, 1758)

ひたちなか市(勝田)佐和 554054 (2012, XI): 捕獲, INM-1-048261; 高萩市秋山 554005 (2000, XI): 捕獲, 茨城動物研究会 (2004); 石岡市(八郷)太田 54403175 (2014, X): 写真, 竹内.

28) タヌキ *Nyctereutes procyonoides* (Gray, 1834)

常陸太田市(里美)里川 55401482 (2013, IX): 視認, 竹内; 常陸大宮市(山方)舟生 54407361 (2013, X): 視認, 竹内; 那珂市(那珂)戸崎 54405356 (2013, XI): 視認, 竹内.

10. アライグマ科 Procyonidae

29) § アライグマ *Procyon lotor* (Linnaeus, 1758) [追加種]

土浦市(土浦)宍塚 54400193 (2009, I): 捕獲, 山崎ほか (2009); 日立市(日立)石名坂町・国道6号 544064 (2008, IV): 捕獲, 山崎ほか (2009); 筑西市(明野)築地 54402031 (2014, IX): 視認, 環境省いきものログ(管理番号 5088782).

11. クマ科 Ursidae

30) ツキノワグマ *Ursus thibetanus* G.Cuvier, 1823 [消滅からの再確認種]

大子町川山 55401279 (2006, XII): 捕獲, 山崎・稲葉(2009); 大子町小生瀬 55401326(2007, V): 痕跡, 山崎・稲葉(2009); 北茨城市関本町 55403426 (2006, II): 痕跡, 山崎・稲葉(2009).

12. イタチ科 Mustelidae

31) ニホンイタチ *Mustela itatsi* Temminck, 1844

常陸太田市(常陸太田)里野宮町 54406473 (2005, IX): 視認, 茨城動物研究会 (2007); 北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (1997, I): 視認, 安田ほか (2010); 大子町川山 55401259 (2005, III): 写真, 茨城動物研究会 (2007).

32) オコジヨ *Mustela erminea* Linnaeus, 1758

大子町上野宮・八溝山 55403202 (1998, VII): 視認, 山崎ほか (2001).

33) ニホンテン *Martes melampus* (Wagner, 1840)

常陸太田市(常陸太田)長谷町 544064 (2008, III-2009, II): 捕獲, 山崎ほか (2009); 大子町頃藤・

男体山神社 55400363 (2014, X): 写真, 竹内; 北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (2004, XI): 写真, 安田ほか (2010).

34) ニホンアナグマ *Meles anakuma* Temminck, 1844

常陸太田市(常陸太田)長谷町 544064 (2008, III-2009, II): 捕獲, 山崎ほか (2009); 那珂市(那珂)田崎 54405364 (2013, VIII): 写真, 竹内; 北茨城市関本町・小川群落保護林 554034 (1999, XI): 写真, 安田ほか (2010).

13. ジャコウネコ科 Viverridae

35) § ハクビシン *Paguma larvata* (Smith, 1827)

高萩市上君田 55401447 (2014, III): 捕獲, 竹内; つくば市稲荷前 54400150 (2013, X): 捕獲, 竹内; 日立市(日立)大和田町 54406407 (2005, IX): 捕獲, 茨城動物研究会 (2007).

14. アザラシ科 Phocidae

36) ゴマフアザラシ *Phoca largha* Pallas, 1811

ひたちなか市(那珂湊)磯崎海岸 554045 (1994, IV): 生存; 鉾田市(鉾田)大竹海岸 554014 (1990, V): 生存.

37) ワモンアザラシ *Pusa hispida* (Schreber, 1775)

常陸太田市(常陸太田)／那珂市(那珂)・久慈川 544054 (2014, IX): 視認, 報道(フジテレビジョンほか); 日立市(日立)・久慈浜海岸 55406500 (2007, IV): 生存.

38) アゴヒゲアザラシ *Erignathus barbatus* (Erxleben, 1777)

茨城町・潤沼川 544034 (1986, IX)／水戸市(水戸)・那珂川 (1986, X): 生存, 大関 (2012b).

15. アシカ科 Otariidae

39) キタオットセイ *Callorhinus ursinus* (Linnaeus, 1758)

日立市(日立)・鮎川 544065 (2012, XII): 生存; 鹿嶋市(鹿島)・清水海岸 54400502 (2012, III): 生存; 神栖市(波崎)・波崎海岸 534046 (2010, II): 生存.

VI. 偶蹄目 (ウシ目) Artiodactyla

16. イノシシ科 Suidae

40) イノシシ *Sus scrofa* Linnaeus, 1758

石岡市(八郷)太田 54403166 (2014, VIII): 写真, 竹内; 那珂市(那珂)田崎 54405364 (2013, VIII):

写真, 竹内; 桜川市 (大和) 本木 54403099 (2011, I): 写真, 竹内.

17. ウシ科 Bovidae

- 41) ニホンカモシカ *Capricornis crispus* (Temminck, 1845) [消滅からの再確認種]
大子町上野宮・日輪寺 55403202 (1999, III-IV): 視認, 山崎 (2008); 大子町中郷・茶味内 554022 (1998, XII): 視認, 山崎 (2008); 笠間市 (笠間) 笠間 54404250 (2005, XI): 写真, 山崎 (2008).

VII. クジラ目 Cetacea

18. セミクジラ科 Balaenidae

- 42) セミクジラ *Eubalaena japonica* (Lacépède, 1818)
神栖市 (波崎)・波崎海岸 534046 (2009, III): 死亡; 日立市 (十王)・川尻港南 544075 (2003, IV): 死亡.

19. ナガスクジラ科 Balaenopteridae

- 43) ミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata* Lacépède, 1804
神栖市 (波崎) 土合 534056 (2007, VIII): 死亡; 日立市 (日立) 会瀬 544065 (2009, IV): 混獲; 日立市 (日立) 会瀬 544065 (2005, XI): 混獲.
- 44) ニタリクジラ *Balaenoptera brydei* Olsen, 1913
ひたちなか市 (那珂湊)・常陸那珂港 544044 (2007, I): 死亡.
- 45) ナガスクジラ *Balaenoptera physalus* (Linnaeus, 1758)
ひたちなか市 (那珂湊)・常陸那珂港 544044 (2004, III): 死亡.
- 46) ザトウクジラ *Megaptera novaeangliae* (Borowski, 1781)
神栖市 (波崎)・日川浜海岸 534065 (2005, XI): 死亡; 銚田市 (旭)・滝浜海岸 544024 (2002, VI): 死亡.

20. マッコウクジラ科 Physeteridae

- 47) マッコウクジラ *Physeter macrocephalus* Linnaeus, 1758
神栖市 (波崎)・波崎海岸 534046 (2012, X): 生存; 北茨城市・大北川河口海岸 554016 (2012, I): 生存; 北茨城市大津町・五浦八磯 55402604 (2006, I): 生存.

21. コマッコウ科 Kogiidae

- 48) コマッコウ *Kogia breviceps* (Blainville, 1838)

ひたちなか市 (那珂湊) 阿字ヶ浦・磯崎漁港下海岸 54404550 (2000, I): 生存; 日立市 (日立)・八反原海岸 54406561 (1999, IV): 死亡.

- 49) オガワコマッコウ *Kogia sima* (Owen, 1866)

神栖市 (波崎)・波崎海岸 534046 (2011, I): 生存; 高萩市・高戸小浜海岸 554005 (2010, II): 生存; 東海村・新川河口 54405428 (2009, III): 生存.

22. アカボウクジラ科 Ziphiidae

- 50) ハップスオウギハクジラ *Mesoplodon carlhubbsi* Moore, 1963

大洗町・大洗サンビーチ 54403465 (2006, IV): 生存; 東海村・新川河口 54405428 (2003, XI): 死亡; ひたちなか市 (那珂湊)・那珂川河口 54404407 (1982, VI): 死亡.

- 51) コブハクジラ *Mesoplodon densirostris* (de Blainville, 1817)

日立市 (日立)・田尻浜海岸 54407535 (2009, III): 生存.

- 52) イチヨウハクジラ *Mesoplodon ginkgodens* Nishiwaki & Kamiya, 1958

大洗町磯浜・アクアワールド大洗下海岸 54403497 (2002, III): 生存.

- 53) アカボウクジラ *Ziphius cavirostris* G. Cuvier, 1823
銚田市 (大洋)・台濁沢海岸 544014 (2001, II): 死亡.

23. マイルカ科 Delphinidae

- 54) ハセイルカ *Delphinus capensis* Gray, 1828

ひたちなか市 (那珂湊)・常陸那珂港入口 54404479 (2008, VII): 生存, 森島 (未発表).

- 55) マイルカ *Delphinus delphis* Linnaeus, 1758

日立市 (日立)・久慈浜 54406500 (1997, V): 生存; 北茨城市大津町・神岡下海岸 55401682 (2005, X): 死亡; 日立市 (日立)・河原子海岸 55406541 (2005, X): 死亡.

- 56) ユメゴンドウ *Feresa attenuata* Gray, 1874

鹿嶋市 (鹿島)・鹿島港 534075 (1986, VII): 視認, 吉田 (1994).

- 57) コビレゴンドウ *Globicephala macrorhynchus* Gray, 1846

東海村・原研東海下海岸 54405448 (2005, VII): 生存; 神栖市 (波崎)・舎利浜海岸 534056 (2003, I): 死亡.

- 58) ハナゴンドウ *Grampus griseus* (G. Cuvier, 1812)
ひたちなか市(那珂湊)・平磯海岸 54404429 (2009, XII): 生存; 大洗町大貫・大洗サンビーチ 54403465 (1999, X): 生存; 高萩市・有明海岸 55400558 (1999, II): 生存.
- 59) カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens* Gill, 1865
塩屋崎 - 犬吠埼の茨城県沿岸および沖 (1981-1990, I-XII): 視認, 吉田 (1994); 銚田市 (大洋)・組塚海岸 54401428 (2003, V): 死亡.
- 60) セミイルカ *Lissodelphis borealis* (Peale, 1848)
北茨城市大津沿岸, 日立市 (日立)・会瀬沿岸, 犬吠埼沿岸 (1981-1990, II, III, IV): 視認, 吉田 (1994).
- 61) カズハゴンドウ *Peponocephala electra* (Gray, 1846)
神栖市 (波崎)・波崎海岸 534046 (2013, IV): 生存; 鹿嶋市 (鹿島)・下津海岸 534075 (2011, III): 生存; 神栖市 (波崎)・須田浜海岸 534056 (2010, IV): 生存; 高萩市・高浜海岸 554005 (2006, IV): 生存.
- 62) オキゴンドウ *Pseudorca crassidens* (Owen, 1846)
大洗沿岸 (1981-1990, VIII): 視認, 吉田 (1994).
- 63) スジイルカ *Stenella coeruleoalba* (Meyen, 1833)
銚田市 (旭)・滝浜海岸 554024 (2013, VI): 生存; 高萩市・高浜海岸 554005 (2013, IV): 生存; 銚田市 (旭)・上釜海岸 55402495 (2010, XII): 生存.
- 64) シワハイルカ *Steno bredanensis* (G. Cuvier in Lesson, 1828)
神栖市 (波崎)・波崎海岸 534046 (2009, VI): 生存; 神栖市 (神栖)・日川浜海岸 534065 (2011, VII): 死亡; 高萩市・高浜海岸 554005 (2005, VII): 死亡.
- 65) ハンドウイルカ *Tursiops truncatus* (Montagu, 1821)
鹿嶋市 (鹿島)・明石海岸 53407592 (2013, IV): 死亡; 日立市 (十王)・花貫川河口南 1km 海岸 55400527 (2003, VI): 死亡.

24. ネズミイルカ科 Phocoenidae

- 66) スナメリ *Neophocaena phocaenoides* (G. Cuvier, 1829)
銚田市 (旭)・滝浜海岸 544024 (2009, X): 生存; 大洗沖 (2003, XII): 混獲; 銚田市 (銚田)・大竹海岸 544014 (2003, VI): 生存.
- 67) イシイルカ *Phocoenoides dalli* (True, 1885)
北茨城市・大津沿岸 554016, 日立市 (日立)・会瀬沖, 日立市 (日立)・久慈浜沿岸, 大洗町・大洗港沖, 犬吠埼沿岸, 同沖 (1981-1990, II-VI): 視認, 吉田 (1994); 大洗町・大洗サンビーチ 544034 (1990, IV): 死亡.

陸生哺乳類 2001 年刊行リストとの比較

陸生哺乳類の 2001 年刊行リスト (山崎ほか, 2001) には, 7 目 16 科 36 種が掲載されている. 今回の目録と比較すると 11 種の取り扱いが変わった (表 1). シントウトガリネズミなど 3 種が削除され, ヒナコウモリなど 6 種が追加された. 追加種の中の 2 種は外来種である. さらに, 2001 年刊行リストでは茨城県か

表 1. 茨城県産陸生哺乳類 2001 年刊行リスト (山崎ほか, 2001) と本目録の変更点.

Table 1. New status of terrestrial mammals in Ibaraki Prefecture, determined by comparing with a list of mammals published in 2001 (Yamazaki *et al.*, 2001).

学名	Scientific name	和名	Common name in Japanese
1. 削除種	Deleted from the present list		
	<i>Sorex shinto</i>	シントウトガリネズミ	
	<i>Nyctalus aviator</i>	ヤマコウモリ	
	<i>Plecotus sacrimontis</i>	ニホンウサギコウモリ	
2. 追加種	Added to the present list		
	<i>Vespertilio sinensis</i>	ヒナコウモリ	
	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	ユビナガコウモリ	
	<i>Murina hilgendorfi</i>	テングコウモリ	
	<i>Eothenomys andersoni</i>	ヤチネズミ	
§	<i>Callosciurus erythraeus</i>	クリハラリス	
§	<i>Procyon lotor</i>	アライグマ	
3. 消滅 (山崎ほか, 2001) からの再確認種	Species whose status has changed from disappeared to reconfirmed		
	<i>Ursus thibetanus</i>	ツキノワグマ	
	<i>Capricornis crispus</i>	ニホンカモシカ	

§: 外来種.

§: Alien species in Ibaraki Prefecture.

ら消滅したと考えられる種として扱われたツキノワグマとニホンカモシカが再確認され、目録に掲載された。

考 察

茨城県版レッドデータリスト改訂作業を機に、最新の哺乳類目録を作成した。陸生哺乳類については、山崎ほか(2001)のリストから約15年を経た情報整理となった。今回、初めて陸生哺乳類と海生哺乳類をまとめた目録を作成したが、両分野の関係者には横断的な情報を提供する機会となるであろう。これによって、さらなる情報の掘り起こしや広い視野からの検討、質の向上に貢献できる。加えて、多くの情報を提供された市民との情報共有も可能にし、自然環境に対する意識の向上に役立つと思われる。本目録が情報提供源の定着と提供層の増強に結びつくことを期待する。

陸生哺乳類

本目録ではトガリネズミ形目(モグラ目)のシントウトガリネズミ *Sorex shinto* Thomas, 1905 (山崎ほか, 2001) ではバイカルトガリネズミ *Sorex caecutiens* Laxmann, 1788 の亜種として扱い、トガリネズミの名称が用いられているが非掲載とされた。これは、水戸第一高等学校に保管とされていた標本が東日本大震災(2011年)で所在不明となり、この標本の採集場所および年月日などの記録も確認できなくなったためである。一方、カワネズミは藤本ほか(2015)の調査によって県内産の標本が初めて県自然博に収蔵された。茨城県では本目の調査が不十分と考えられる。専門家による本格的な捕獲調査が実施されれば、シントウトガリネズミなどの生息も確認されると思われる。

コウモリ目でも確実な生息情報を得るには捕獲調査が不可欠である。今回は3種、すなわち、ヒナコウモリ(安井, 未発表)、ユビナガコウモリ(安井・山崎, 2013)、テングコウモリ(安田ほか, 2010)が捕獲によって確認され、目録に掲載された。一方、ヤマコウモリ *Nyctalus aviator* Thomas, 1911 の生息情報は1940、50年代の古い文献記述の引用(茨城動物研究会, 1998)と、2000年6月に北茨城市で行われたバットディテクターと視認による間接的な確認しかない(山崎ほか, 2001; 小柳ほか, 2003)。このように本種では確実な生息の証拠が1965年以降得られていないことから、本目録では非掲載とした。また、ニホン

ウサギコウモリ *Plecotus sacrimontis* G. M. Allen, 1908 は、日立市・本山鉱山跡(2次メッシュ544074)での採集年不明の記録があると報告されている(山崎ほか, 2001)。今回、採集された標本が所蔵されていた常磐女子高等学校(現:常磐大学高等学校)に確認したところ、シントウトガリネズミと同様に東日本大震災で所在が不明となり、情報を精査することができなかった。このため、こちらも1965年以降の生息情報が得られず目録に非掲載とした。

ネズミ目のうち小型のネズミ類は、北茨城市・小川群落保護林(国有林)での調査報告(e.g., 安田ほか, 2010)が本目録に貢献している。一方、そのほかの地域では調査不足が否めない。リス科のニホンモモンガやニホンリスについては、詳細な生息調査がこれまで実施されていない。また、茨城県産の標本は県自然博に収蔵されていない。

食肉目のシベリアイタチ *Mustela sibirica* Pallas, 1773 は文献記載があり、その標本が北海道第一高等学校にコウライイタチの名称で保管されている(堀越, 1975)。しかし、Sekiguchi *et al.* (2010) が県自然博所蔵の県内各地の複数の標本で行ったDNA解析では、シベリアイタチは確認されず、すべてがニホンイタチと判定された。このため、本目録にシベリアイタチは加えなかった。また、オコジョは第5回自然環境保全基礎調査で男体山から分布が記録されている(環境省自然環境局生物多様性センター, 2002)。生物多様性センターが管理する元情報を確認したところ、確認年月は1966年5月であった。しかし、確認方法の記録項目がなく不明なため、今回は生息の証拠として採用しなかった。一方、野紫木洋氏による1988年7月の八溝山での視認情報(山崎ほか, 2001)は、同氏に直接確認して地点を確定できた。今回実施した補完調査(竹内, 未発表:自動撮影カメラによる現地調査と聞き取り調査)では新たな生息情報が得られておらず、調査を継続する予定である。

偶蹄目のニホンカモシカについては、視認情報のうち、大子町日輪寺での成獣と幼獣、計3頭の視認(山崎, 2008)が定着の可能性を示唆すると判断し、目録に掲載した。なお、2014年9月にも、大子町八溝山山頂の県境近く(3次メッシュ55403212)で親子の目撃事例がある(多田義明氏私信)。笠間市での2005年の出現個体(山崎, 2008)については、地元で飼養されていたものが逃げ出したとの新たな未確認情報があ

り、今後の精査が必要である。

海生哺乳類

食肉目アザラシ科の3種（ゴマフアザラシ、ワモンアザラシ、アゴヒゲアザラシ）は、アシカ科のキタオットセイに比べ確認が単発で数も少ない。特に、アゴヒゲアザラシの確認は30年以上前であり（大関, 2012b）、まれな事例である。ゴマフアザラシは本州も生息地として知られるが、アゴヒゲアザラシとワモンアザラシは北海道以外の生息は明記されておらず（Ohdachi *et al.*, 2009）、生存個体で確認されたことは書き留める価値がある。

クジラ目では26種が本目録に掲載された。これらのうち19種はOhdachi *et al.* (2009)において、茨城県沖および沿岸での生息が知られる22種と一致した。残り3種のうちシャチ *Orcinus orca* (Linnaeus, 1758) は、ストランディングレコードに記載されていない目視情報が県水族館に口頭で2件もたらされているが、コククジラ *Eschrichtius robustus* (Lilljeborg, 1861) とツチクジラ *Berardius bairdii* Stejneger, 1883の漂着情報はない。一方、26種中の7種は、Ohdachi *et al.* (2009)において茨城県沖および沿岸海域に分布が記載されていない。そのうち4種（オガワコマッコウ、コブハクジラ、ハセイルカ、ニタリクジラ）はOhdachi *et al.* (2009)において漂着の記載がなく、後者3種は今回の確認でも1件ずつの漂着であり、希有な事例と考えられる。前者3種は生存状態で確認されたことが注目に値する。一方、セミクジラ科とナガスクジラ科のうちミンククジラを除く3種については生存状態での漂着記録はなく、沿岸域での生息を支持する証拠がない。また、ミンククジラは混獲された場合に肉が販売されてしまうことがあり、本種の情報は過小評価の可能性が考えられる。これに対し、マッコウクジラとコマッコウ科2種は生存漂着で確認され、マッコウクジラとオガワコマッコウはここ5年においても複数回の確認がある。アカボウクジラ科は総じて確認件数が少なく、アカボウクジラは生存確認がない。さらに、マイルカ科はハナゴンドウ、カズハゴンドウ、スジイルカ以外は確認件数が少なく、確認時期も10年以上前の種が多い。ハンドウイルカは生存での確認がない。

こうした中で、ネズミイルカ科スナメリの記録の多さは特筆に値し、1981年11月28日～2013年3月31日の間に64件と県内漂着の約3割を占める（酒

井, 2014）。本種は県沿岸の全市町村で確認され、その時期は通年である（酒井, 2014）。また、茨城沖でもセスナ機による目視調査で確認されており（酒井, 2014）、県沿岸海域での生息が確実な種である。

そのほかの情報

霊長目（サル目）のニホンザル *Macaca fuscata* (Blyth, 1875) に関しては、常陸大宮市（山方）小貫で2014年9月に視認（朝日新聞2014年9月10日朝刊、茨城版29面）、桜川市と守谷市で捕獲の報告がある（環境省自然環境局生物多様性センター, 2011）。しかし、標本による確認ができず、群れとしての確認もないため（環境省自然環境局生物多様性センター, 2011）、現段階では飼育個体の逸出、逃亡などが否定できず目録への掲載を見送った。隣接県からの移入も予想されるため、今後の情報収集や捕獲個体の保管が求められる。

本目録で掲載された外来種は新規に掲載された2種とハクビシンの計3種である。このうちアライグマは2005年以降に野生化の情報が多くなり、確実な定着と農業被害などが確認され（山崎ほか, 2009）、県による被害防除計画が策定されている。クリハラリスは菅生沼東岸で定着しており（山崎, 2014）、坂東市と常総市が防除実施計画に基づき対策に乗り出している。本種は、福島県いわき市にも生息しており（環境省自然環境局生物多様性センター, 2002）、県北部でも注意を要する。

一時的な逸出などと考えられるため、確認情報はあるものの目録に非掲載と判断した外来種について記す。シマリス *Tamias sibiricus* (Laxmann, 1769) は那珂市（那珂）戸崎・県民の森54405375（1991, X）に生息ポイントが報告されており（環境省自然環境局生物多様性センター, 2002）、ペット由来の放逐、定着が強く疑われた。しかし、この情報には確認方法が記載されておらず、その後の調査での追認もない（茨城県動物研究会2004, 2007; 国土交通省国土技術政策総合研究所・野生動物保護管理事務所, 2002）。このため、目録には掲載しなかったが、放逐が起きやすい場所での確認であるため今後も注意を要する。同様にペット由来と考えられるタイリクモモンガ *Pteromys volans* (Linnaeus, 1758) が守谷市で1996年に捕獲され、プレーリードッグの1種 *Cynomys* sp. が水戸市（水戸）の那珂川河川敷で2001年1月に捕獲、坂東市（猿

島)でも1997年に捕獲されたことがある(山崎ほか, 2001)。しかし, その後約20年および15年に新たな確認情報はない。ヌートリア *Myocastor coypus* (Molina, 1782) については, 堀越(1975)が水海道市(現・常総市)で飼育個体の野生化を認める記述をしており, この時代に同市で生息があった可能性がある。また, 1987年7月には, つくば市(筑波)北条で交通事故死体が発見され, 当該個体の頭蓋骨骨格が県自然博に保管されている(INM-1-061851)(山崎, 未発表)。しかし, その後の情報はなく, 今回は野外定着の判定ができないため目録には掲載しなかった。本種は現在も千葉県で生息しており(金子, 2005a), その分布拡大も懸念される。また, マスクラット *Ondatra zibethicus* (Linnaeus, 1766) は千葉県, 埼玉県の中川水系で情報がある(金子, 2005b)。茨城県では, 五霞町山王地区の水路で, ヌートリアあるいはマスクラットと考えられる複数個体の動物がたびたび目撃, 写真撮影されており, 種の同定が求められる(山崎, 未発表)。さらに, ミンク *Neovison vison* (Schreber, 1777) は福島県の阿武隈川に情報があることから(伊原ほか, 2013), 本種にも注意を要する。

最後に今回の掲載基準では取り扱われない絶滅種, すなわち1964年以前にしか情報がない種について言及する。偶蹄目のニホンジカ *Cervus nippon* Temminck, 1838は1890年代頃(明治中頃)には八溝山に生息し, 1920年代(大正末期)に常陸太田市で最後の捕獲がなされたという記録がある(小室, 1984)。本種については2014年, 福島県いわき市の常磐自動車道湯ノ岳PA付近で出現が確認されている(今野文治氏私信)。ニホンオオカミ *Canis lupus* Linnaeus, 1758は明治初期の絶滅という記載が(小室, 1984), カワウソ *Lutra lutra* (Linnaeus, 1758)は城里町(桂)阿野沢で明治期に絶滅したと記録がある(小菅, 1975)。海生哺乳類についてもニホンアシカ *Zalophus japonicus* (Peter, 1866)などの古い記録がないか, 過去情報の収集を急ぐ必要がある。これらの情報をお持ちの場合は, 県自然博, 県水族館もしくは著者らにお寄せいただきたい。

謝 辞

雨引観音, 茨城猪塾(茨城県病害虫防除所・農研機構中央農研協定研究, 平成24~26年度), 環境省自然環境局生物多様性センターならびに植竹芳和(茨城

県小学校教諭), 大澤清香(阿見町), 桐原 崇(環境省), 小松茉莉奈(筑波大学大学院生), 今野文治(JA新ふくしま), 齊藤 理(コウモリの会), 佐伯 緑(農研機構中央農研), 坂寄 廣(茨城県土壤動物研究会), 長岡浩子(世田谷区), 多田義明(ひたちなか市), 野紫木洋(糸魚川市青海少年の家), 家根橋圭佑(東京大学大学院生)の各位に情報提供, 調査協力をさせていただいた。厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 藤本竜輔・竹内正彦・山崎晃司。(2015)。茨城県北部におけるカワネズミ *Chimarrogale platycephala* の生息確認。茨城県自然博物館研究報告, (18): 49-51。
- 堀越 功。1975。茨城県水海道市地方の小哺乳動物。茨城県高等学校教育研究会生物部。茨城の生物 第1集。pp. 187-192, 茨城県高等学校教育研究会生物部。
- 茨城県。2000。茨城における絶滅のおそれのある野生生物<動物編>茨城県版レッドデータブック。195 pp., 茨城県生活環境部環境政策課。
- 茨城県。2002。茨城県野生鳥獣生息分布調査報告書(平成12・13年度), 384 pp。
- 茨城県。2007。茨城県野生鳥獣生息分布調査報告書(平成17・18年度), 358 pp。
- 茨城動物研究会。1998。筑波山の哺乳類。ミュージアムパーク茨城県自然博物館(編)。茨城県自然博物館第1次総合調査報告書, pp. 207-211, ミュージアムパーク茨城県自然博物館。
- 茨城動物研究会。2004。茨城県北東部地域の哺乳類。ミュージアムパーク茨城県自然博物館(編)。茨城県自然博物館第3次総合調査報告書, pp. 279-283, ミュージアムパーク茨城県自然博物館。
- 茨城動物研究会。2007。茨城県北西地域の哺乳類。ミュージアムパーク茨城県自然博物館(編)。茨城県自然博物館第4次総合調査報告書, pp. 255-260, ミュージアムパーク茨城県自然博物館。
- 伊原禎雄・稲葉 修・藤原かおり・佐藤洋司。2013。阿武隈川2支川におけるアメリカミンクの生息密度推定。野生生物保護, 14: 9-13。
- 石塚 剛・立島健人・小林和貴・木村 聡・宮部大輔・萩原直紀・遠藤 智・木村裕一・後藤俊也。2006。茨城県坂東(旧岩井)市におけるアブラコウモリの生息調査。茨城県自然博物館研究報告, (9): 55-59。
- 環境庁自然保護局計画課自然環境調査室。1997。都道府県別メッシュマップ08茨城県。89 pp。
- 環境省自然環境局生物多様性センター。2002。生物多様性調査動物分布調査報告書(哺乳類), 241 pp。
- 環境省自然環境局生物多様性センター。2011。平成22年度自然環境保全基礎調査特定哺乳類生息状況調査及び調査体制構築業務報告書, 411 pp。
- 金子之史。2005a。ヌートリア。阿部 永(監修)。日本の哺乳類 [改訂版]。146 pp., 東海大学出版会。

- 金子之史. 2005b. マスクラット. 阿部 永 (監修). 日本の哺乳類 [改訂版]. 130 pp., 東海大学出版会.
- 国土交通省国土技術政策総合研究所・野生動物保護管理事務所. 2002. 平成13年度整体ネットワーク計画のための哺乳類行動・生態調査業務報告書, 53 pp.
- 小室 健. 1984. 奥久慈の植物と自然の風景. 218 pp., 奥久慈植物研究友の会.
- 小菅次男. 1975. 動物相の概要. 茨城県高等学校教育研究会生物部. 茨城の生物 第1集, pp. 8-10, 茨城県高等学校教育研究会生物部.
- 小柳恭二・辻 明子・山崎晃司. 2003. 茨城県におけるコウモリ類の生息分布 - 1997年から2001年の記録 -. 茨城県自然博物館研究報告, (6): 85-93.
- Ohdachi, S.D., Y. Ishibashi, M.A. Iwasa and T. Saitoh. 2009. The Wild Mammals of Japan. 544 pp., Shokadoh, Kyoto.
- 大関 修. 2012a. ストランディング記録から見る茨城の海生哺乳類. 久松正樹・竹内正彦・増子勝男 (編). 茨城の動物たち. pp. 28-38, STEP.
- 大関 修. 2012b. なかちゃん現る!. 久松正樹・竹内正彦・増子勝男 (編). 茨城の動物たち. pp. 39-40, STEP.
- 奥村みほ子・岩佐真宏・安田雅俊・山崎晃司. 2009. 茨城県におけるヤチネズミ *Eothenomys andersoni* の記録. 茨城県自然博物館研究報告, (12): 37-40.
- 酒井 孝. 2014. 茨城県でストランディングおよび混獲したスナメリについて. 海洋と生物, 36(1): 14-21.
- Sekiguchi T., H. Sasaki, Y. Kurihara, S. Watanabe, D. Moriyama, N. Kurose, R. Matsuki, K. Yamazaki and M. Saeki. 2010. New methods for species and sex determination in three sympatric Mustelids, *Mustela itatsi*, *Mustela sibirica*, and *Martes melampus*. *Molecular Ecology Resources*, 10: 1089-1091.
- 柴田銃江・安井さち子. 2006. 茨城県北茨城市小川群落保護林におけるコテングコウモリの樹冠部での偶発的捕獲. 東洋蝙蝠研究所紀要, (5): 27-29.
- 山崎晃司. 2008. 茨城県央部でのカモシカ (偶蹄目) の出現記録について. 茨城県自然博物館研究報告, (11): 29-31.
- 山崎晃司. 2014. 菅生沼にクリハラリスが定着. 自然博物館ニュース A・MUSEUM, (79): 4.
- 山崎晃司・稲葉 修. 2009. 阿武隈山地南部 (茨城県・福島県・栃木県) へのツキノワグマの分布拡大の可能性について. 哺乳類科学, 49: 257-261.
- 山崎晃司・小柳恭二・辻 明子. 2001. 茨城県でこれまでに確認された哺乳類について. 茨城県自然博物館研究報告, (4): 103-108.
- 山崎晃司・佐伯 緑・竹内正彦・及川ひろみ. 2009. 茨城県でのアライグマの生息動向と今後の管理課題について. 茨城県自然博物館研究報告, (12): 41-49.
- 山崎晃司・安井さち子・廣瀬 誠. 2008. ヒナコウモリの茨城県での初認記録について. 茨城県自然博物館研究報告, (11): 27-28.
- 安井さち子・斉藤 理. 2010. 茨城県のコウモリ類. ミュージアムパーク茨城県自然博物館 (編). 茨城県自然博物館総合調査報告書 茨城県南西部地域を中心とした脊椎動物, pp. 3-9, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 安井さち子・山崎晃司. 2013. ユビナガコウモリの茨城県での初記録について. 茨城県自然博物館研究報告, (16): 63-67.
- 安田雅敏・奥村みほ子・山崎晃司. 2010. 茨城県北部の小川群落保護林およびその周辺における野生哺乳類の記録. 茨城県自然博物館研究報告, (13): 99-104.
- 吉田征紀. 1994. 鹿島灘で認められた海獣類. 動物園水族館雑誌, 36: 24-31.

(要 旨)

竹内正彦・藤本竜輔・森島和也・安井さち子・山崎晃司. 茨城県産野生哺乳類目録. 茨城県自然博物館研究報告 第18号 (2015) pp. 71-82.

茨城県産野生哺乳類目録を1965～2014年までの生息情報に基づいて作成した. 情報には県自然博物館の標本記録, 県水族館のストランディング対応記録, 現地調査結果および文献資料を用いた. 茨城県に生息する哺乳類として7目24科67種が掲載された. このうちコウモリ類を含む陸生は6目15科37種, 海生は2目9科30種であった (食肉目は陸生と海生の両方に含まれる). 陸生哺乳類の2001年刊行リスト (山崎ほか, 2001) との比較では, シントウトガリネズミ, ヤマコウモリ, ニホンウサギコウモリは確実な生息情報が得られなかったため削除された. 一方, コウモリ類3種, ヤチネズミ, ツキノワグマ, ニホンカモシカが追加された. 外来種は3種が掲載された.

(キーワード): 外来種, インベントリー調査, 海生哺乳類, レッドリスト, 陸生哺乳類.